

2012年8月27日

各位

呼びかけ人 生協労連関西地方連合会
執行委員長 宮沢 寛 印・略
生協労連大阪府連合会
執行委員長 土橋 豊 印・略
大阪労連阪南地区協議会
議長 三宅 良夫 印・略
オレンジコープ労働組合
執行委員長 松尾 修 印・略

「オレンジコープ労働組合支援共闘会議」への加入のお願い

大阪府泉南市を中心に活動しています泉南生協（通称オレンジコープ）において、平成24年6月30日付で、労働組合員である配送担当者5名全員のみが突然解雇されました。

オレンジコープにはこれまで労働組合がありませんでした。そのためタイムカードもなく日常では過酷な長時間労働を強いられ、昼休憩もとれずぶっ続けで13時間以上も労働をするという内容で当然残業代も払われませんでした。また休日出勤をした場合の振り替えは、何故か有給休暇が増えるという対応です。さらには気に入らない職員は、すぐにクビにするという対応が横行しており、朝に配送商品の積み込みが終わった後、そのままクビにされた事態も見えてきたこともあって、毎日の“解雇の恐怖と過労死の不安”から昨年10月末、配送担当者全員で労働組合を結成しました。労働組合結成にあたってタイムカードの導入や最低でも労働基準法を守るよう要求書を提出しましたが、理事会は文書での回答を拒否するだけでなく、「全労連の労働組合は過激派だ！爆弾を作っている！」あげくの果てには「君たちの名簿は警察に提出する」など、まともな対応を行わないどころか思想弾圧を繰り返してきました。

その後も理事会との文書のやりとりの中で「順序が違う」や「組合の言い分には嘘がある」だの、「生協施設内での交渉は出来ない」などと、あらゆる理由をつけて団体交渉開催の引き伸ばしが行われるだけでなく、労組員だけを供給部門の事務所から物流センターの食堂に隔離して、完全に他の職員と接触できないようにし、さらには2回にわたり希望退職募集を行ってきました。そして、退職しなかった労働組合員5人に対し、突然6月30日に指名解雇通知を自宅に郵送してきました。

その後の団体交渉で解雇理由を問いただすと、最大の理由として「嘘をつく人間とは一緒に生協運動はできない、嘘をつく人間を選んだら、たまたま労働組合員であった」という信じられない理由が理事長から答弁されました。彼らは業務上で何か問題を起こしたわけでもありません。このことも理事長は交渉の場で認めました。このことから、労働組合潰しを目的とした不当解雇であることは明らかです。私たちはこのような気に入らないものはクビなどの思想差別や不当労働行為・不当解雇を決して許すことはできませんし、当該労働者5名も裁判闘争を決意しました。このような使用者側の横暴を許さない世論を大きくして、この裁判闘争に勝利し、職場復帰と職場の民主化を実現したいと考えています。

つきましては、是非とも皆様方に「支援共闘会議」に加入して頂き、大きなご支援（署名、募金、宣伝、集会参加、裁判傍聴など）をお願い致します。

<振込先>

ゆうちょ銀行 口座記号番号 00900-3-128762 加入者名 オレンジコープ労組支援共闘会議

オレンジコープ労組支援共闘会議規約

1. 名称

オレンジコープ労組の組合員の解雇撤回と泉南生協の民主化を目指す支援共闘会議
(略称：オレンジコープ労組支援共闘会議) とします。

2. 目的

泉南生協で働く労働者が、安全で安心して働き、生活が出来るよう運動を進めます。

3. 役員構成

議長 1名

副議長 若干名

事務局長 1名

事務局次長 若干名 (内1名、財政担当)

幹事 若干名

4. 会の運営

年に1回総会を行い、総会までの間は定期的に役員会を行います。

事務局は生協労連大阪府連 (大阪市天王寺区悲田院町 8-12 国労南近畿会館 2階)
内に置きます。

5. 財政

会の目的に賛同する団体より1口年間3,000円、個人より1口年間1,000円を会費
とします。また、この会費をもってこの会の運営費とします。

会計の「締め」は原則として毎年6月末とします。

6. 役員任期

2012年8月27日に支援共闘会議を結成し、任期は次回総会までとします。

7. 解散

総会を行って解散とします。

オレンジコープ労働組合支援共闘会議（個人）
加入申込書（新規・継続）

_____年 月 日

本会の趣旨に賛同し「支援共闘会議」に入会します。（会費は年間1口1,000円です）

氏名：_____ 加入口数：_____口 _____円
（加入組織・団体名：_____）
住所：〒 _____
電話：（自宅 _____）（携帯 _____）
メールアドレス：_____

オレンジコープ労働組合支援共闘会議（団体）
加入申込書（新規・継続）

_____年 月 日

本会の趣旨に賛同し「支援共闘会議」に入会します。（会費は年間1口3,000円です）

団体名：生協労組おみやま 加入口数：5口 15000円
（代表者または担当者名：_____）
住所：〒 _____
電話：_____
メールアドレス：_____

領収書

_____年 月 日

_____殿

金 _____円

201 年度（ 個人 ・ 団体 ）会費として、上記たしかに領収しました

オレンジコープ労働組合支援共闘会議
〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町8-12
国労南近畿会館2階 生協労連大阪府連内
TEL：06（6779）5441 FAX：06（6779）5350

私たちはオレンジコープで安心して働きたい！

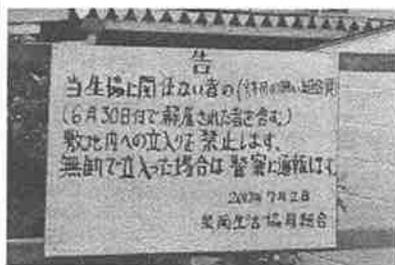
週末金曜日には何の説明もなく、翌日土曜日に自宅に解雇通知が！



何の説明もなく、突然解雇されて、「そんな解雇は受け入れられない」と働く意思を示しに職場へ足を運んだら、「警察を呼ぶぞ！」と、信じられない対応！！ 先日まで一緒に仕事していたのに、不審者な訳ないでしょ？

さらに翌日は、立て看板まで設置されていました。ご丁寧に「6月30日付で解雇された者を含む」と。

解雇理由もまともに示さずに、一切中に入れられないなんて・・・



私たちは、安心して働きたい為に労働組合を結成したのに・・・そこまでして労働組合を潰すには、何か他の理由でもあるのか？と疑ってしまいます。

笠原 優 理事長は、労働組合を結成した当初から、不誠実な対応を繰り返してきて、その理由も示さずに「立ち入り禁止」とは、いったいどうすればまともに話し合ってもらえるのでしょうか？

は労働組合に入っている5名のみです。当然ながら、納得できずに『就労意思』があることを示しに職場へ行くと、「警察を呼ぶぞ」と言われ、本当に警察が来ました。

雇用不安や長時間不払い労働などの不安から労働組合を結成し、団体交渉を申し入れてきた私たち5名に対し、オレンジコープ（泉南生協）は突然、首を切ってきました。解雇通知は「希望退職が予定数に達しなかったため」とのこととで、なぜ自分達が指名されたかは全く示されておらず、労働組合に加入した5名全員が解雇となりました。希望退職の予定人数は10名でしたが、解雇者

一方的に解雇して、職場に行けば警察へ通報！ 笠原理事長は、労働組合を認め解雇撤回を！

2012年 7月

No. 1

発行元 オレンジコープ労働組合 責任者：松尾 修

住所：大阪市天王寺区悲田院町8-12 国労南近畿会館内2F

生協労連大阪府連内

TEL.06(6779)5441

労働組合潰しの解雇は認められません！！

「労働組合に加入した5名は全員解雇 ???」

労働組合ができるまでの

オレンジコープの異常な実態

・気に入らない人間は突然クビ

(明日から来なくていいぞ！)

・異常なまでの長時間労働

(朝7時～夜10時まで、残業代もなし！)

タイムカードすら無かった！)

・有休休暇の残数は一年で抹消。

(当然ながら違法！ また、ほとんど取れていないので消えるばかり)

・休日出勤の振替はなぜか有休が増えるだけ

(当然消えていくのみで、意味がない)

理事長は、2回にわたって希望退職者募集（募集人員は10名）を行い、それでも退職しなかった私達に、最後の手段として労働組合員5人へのみ解雇通知を送ってきたのです。これは労働組合潰しを目的とした不当解雇であり、絶対に許すことはできません。

私たちは必ず職場に復帰し、オレンジコープの正常な運営を目指します。皆さんのご理解とご支援、宜しく願います。

しかし労働基準法を遵守すべく訴えてきましたが、理事長、使用者側は耳を傾けず、それどころか理事長は私たちが加盟している労働組合を「過激派だ！爆弾を作っている！」と思想弾圧を繰り返してきました。

そこで私たちは昨年10月に労働組合を結成しました。

寝耳に水の内容ですがこれには前兆があります。そもそも私達が就職してから過酷な長時間労働を強いられ、昼休憩もほとんどとれず、ぶつ続けで13時間以上も労働をするという内容でした。休日出勤は当たり前、もちろん残業代もありません。数々の先輩達が労働条件改善を訴えてきましたが、そのたびに嫌がらせを受けたり、急に解雇されるのを目の当たりにしてきました。毎日が「解雇の恐怖」と「いつ過労死するか」わからない状況でした。

6月30日に突然自宅に解雇通知を送りつけられました。

私たち5人はオレンジコープ(泉南生協)の配達担当職員です。

笠原理事長は、不当な解雇をすぐに撤回してください！！

抗議及び要請先

泉南生活協同組合 笠原 優 理事長

泉南市信達岡中1489-10

TEL072-482-1515

オレンジコープは民主的な運営を行ってください！

2012年 7月 No. 1

発行元 オレンジコープ労働組合 責任者：松尾 修

住 所：大阪市天王寺区悲田院町8-12 国労南近畿会館内2F

生協労連大阪府連内

TEL.06(6779)5441

労働組合の宣伝行動に対し、『警告書』を送りつけ、『謝罪』を要求！ 反省無き泉南生協・笠原理事長の暴挙は一体どこまで続くのか！？

労働組合つづきの解雇は許されない！

市民の皆さん、泉南生協（オレンジコープ）を利用されている組合員の皆さん、私たちは、泉南生協（オレンジコープ）で働く仲間組織するオレンジコープ労働組合です。

私たちは生協を利用されている皆様へ「安全・安心」な商品をお届けを行っています。

しかし、泉南生協の職場では、上司の気に入らないものはすぐにクビにするなどの体質があり、「いつクビを切られるかわからない」不安や、タイムカードもなく長時間労働のうえに残業代も支払われないなどの問題から、昨年10月に労働組合を結成しました。しかし、泉南生協の笠原理事長は労働組合を一方的に敵視し、6月30日、労働組合に加入している5名全員を「労働組合員」という理由で解雇してきました。

私たち労働組合は、この様な不当な解雇に反対して駅前などで宣伝行動を行っています。

すると今度は配布したビラに対して、「全く事実と反するビラ」と『警告書』を内容証明で送りつけてきて、謝罪

するよう求めてきました。当然ながら私たちの配布したビラには虚偽の内容などは一切存在しません。実際に私たちが働いて体験したことをもとに作成したものです。

さらには、私たちも生協組合員であるにもかかわらず、一方的に「理事会で決定した」という理由で、生協商品の購入も出来なくなりました。生協を良くするため、安心して働いていくために作った労働組合を嫌悪し、労働組合を潰すために労働組合員を全員辞めさせてしまう笠原理事長の行う暴挙は、本当に許し難く、悲しい事です。

私たちは、組合潰しの攻撃に負けずに、早期の職場復帰と「安心・安全で働ける」民主的な職場を目指して頑張ります。市民の皆さん、泉南生協を利用していらっしゃる組合員の皆様のご理解とご支援を心からお願い致します。



抗議先

泉南生活協同組合 笠原 優 理事長
泉南市信達岡中1489-10
TEL072-482-1515

2012年9月 No.2

発行元 オレンジコープ労働組合 責任者：松尾 修
住所：大阪市天王寺区悲田院町8-12 国労南近畿会館内2F
生協労連大阪府連内 TEL.06(6779)5441

オレンジコープ労働組合は泉南生協の民主的運営を目指します

オレンジコープ労組解雇撤回支援共闘会議結成！ 生協労連、産別、地域から90人の参加！



結成総会は、岸和田市立労働会館で午後6時半から地連山重書記長の司会で始まりました。冒頭、大阪府連土橋委員長の主催者あいさつでは、オレンジ労組結成から解雇にいたる経過、理事会の態度などが報告され最後に生協労連としての決意が語られました。

連帯のあいさつでは、**生協労連中央から鈴木書記長**が、生協労連として全力でたたかう決意を表明し、この20年間のリストラ、店舗閉鎖、物流再編などでの雇用問題のたたかいを報告。新自由主義的理事者が増えたこと。司法の反動化の中での裁判闘争の意義が大きいことなどを発言し当該労組を激励。**民間部会坂本副部会長**は、民間労働者として経営者に怒りを感じる。当該5人の要求は憲法が保障している。大儀は組合側にある。大阪労連、地域、生協労連そして5人の仲間が団結して勝利を勝ち取ろう。**阪南地区協の三宅議長**は、阪南地区は常に争議を抱えている。この間解決した争議では元気に職場で働いている。5人の職場復帰で生協の民主化・健全化をしていこう。3人の方から力強い連帯のあいさつと激励がありました。

弁護団紹介

山崎 国満 弁護士（阪南合同法律事務所） 南部 秀一郎 弁護士（阪南合同法律事務所）
鎌田 幸夫 弁護士（北大阪総合法律事務所） 谷 真介 弁護士（北大阪総合法律事務所）
宮本 亜紀 弁護士（きづがわ共同法律事務所）

代表して山崎弁護士が分かりやすく丁寧に問題点と方針を説明されました。最後に「負けるわけにはいかない裁判、必ず勝てる裁判で全労連の名誉にかけても勝利する必要がある」とされました。

続いて、地域での争議団を紹介。共闘会議の体制、規約、当面の行動提起を府連松本書記長が行いました。

原告団の紹介と決意表明(オレンジコープ労働組合)

「これだけ多くの方々の参加、力強い支援に支えられ勇気がわいてきた」「生活を奪われ不安だけが」「人間として扱ってほしい」「今も恐怖を感じながら働いている仲間がいる。まともなオレンジコープ（職場）にしたい」など5人がそれぞれお礼と決意を表明しました。また、結成総会に家族も含めて参加していることが報告されました。

支援共闘会議議長川辺氏(大阪労連議長)より、共闘会議幹事の紹介(別紙)

があり「このたたかいは、労働組合つぶし、組合への嫌悪に対するたたかい」「大きなたたかいと団結の輪を作り、生協の民主化の為にたたかうのが私たちの責任」とされました。



最後に、関西地連の宮沢委員長が閉会のあいさつで、生協労連として勝利の日までたたかい抜く決意と大阪のすべての争議を解決させる立場を強調し、団結ガンバローを三唱して総会を終了しました。

オレンジコープ労組支援共闘会議 役員体制

議長	川辺 和宏	(大阪労連議長)
副議長	宮沢 寛	(生協労連関西地連執行委員長)
副議長	土橋 豊	(生協労連大阪府連執行委員長)
副議長	坂本 一朗	(大阪労連民間部会副部会長)
副議長	三宅 良夫	(大阪労連阪南地区協議会議長)
事務局長	松本 英児	(生協労連大阪府連書記長)
事務局次長 (財政担当)	山重 俊也	(生協労連関西地連書記長)
事務局次長	松尾 修	(オレンジコープ労組)
事務局次長	藤原 邦昭	(大阪労連阪南地区協議会事務局長)
幹事	池田 真人	(生協労連関西地連副委員長)
幹事	米田 覚	(生協労連大阪府連副委員長)
幹事	庭和田 裕之	(自交総連大阪地方連合会書記長)
幹事	三浦 正	(JMIU大阪地方本部副委員長)
幹事	海老原 新	(化学一般関西地方本部書記長)
幹事	園部 澄人	(大阪医療労働組合連合会副委員長)
幹事	鈴木 正明	(建交労大阪府本部執行委員)
幹事	佐本 佳寿子	(福祉保育労大阪地方本部副委員長)
幹事	佐野 良二	(大阪自治労連書記次長)
幹事	()	(全国一般大阪府本部)
幹事	()	(全港湾阪神支部)
幹事	家串 省三郎	(大阪教職員組合副委員長)
幹事	鷹巢 準	(大阪労連阪南地区協議会幹事)
幹事	早山 洋一	(泉南労連事務局長)
幹事	前原 嘉人	(堺労連幹事)
幹事	菅 義人	(生協労連大阪府連副委員長)
幹事	阿形 頼治	(オレンジコープ労組)
幹事	西田 和生	(オレンジコープ労組)
幹事	村上 暢秀	(オレンジコープ労組)
幹事	永広 和也	(オレンジコープ労組)
事務局	佐藤 和美	(大阪労連・事務局担当)